

むかわ町

9337 松坂一樹

1.概要

1.1 地名の由来

アイヌ語の「ムッカベツ」＝「川尻のたえず動く」という名からとったという説と「ムクアプ」＝「つるにんじんのおいところ」ということばがなまったとする説がある。

1.2 町章

全体をむかわ町の「ム」の字で形取り、図の左の曲線部分は豊かな森と豊富な産物を、右側の三本曲線は清流と海・澄みきった青空をイメージしている。中央の円は、住民の健康と融和・みなぎる活力を意味し、太い曲線は力強さ自然の奥深さ、自然と住民が共生する姿を表している。

図 1 むかわ町町章



出典：むかわ町役場ＨＰ

1.3 歴史

鵒川の流域には、考古学的な遺跡の発掘によって相当古い時代からアイヌの人々が定住していたと想像されている。明治時代の地名が全部アイヌ語で統一されていることなどから、この地域がアイヌの人々の生活圏として広く利用され、また、近世までアイヌ文化が維持されてきたものと考えられる。

流域への和人の入地は、河口に位置する現鵒川町が早く 1800 年（寛政 12 年）で、上流に向かう程遅く、穂別町が 1800 年代の後半、占冠町が 1900 年代となっている。

以後、肥沃で温暖な鵒川の流域には、明治中期以降、本州からの開拓民が次々と入植し、一面に茂った大木を切り倒し農地を開いていった。下流の鵒川町では早くから稲作が試されており、明治 25 年に開かれた三反歩の水田が流域の稲作の始まりである。

鵒川の豊かな水は主に農業用水として活用され、特に下流の平野部は道内指おりの稲作地帯として発展した。今ではその豊かな水を活用した 4,000ha にもおよぶ水田が広がり、緑の大地では放牧された牛・馬が草を食す姿も見られる。また、漁業・農林業・鉱業などの開発も進んで現在の鵒川・穂別・占冠などの集落が形成され、地域の行政・経済の中心として発展してきた。

図 2 下流域の市街と田園地帯



出典：国土交通省ＨＰ

そして、2006 年 3 月 27 日、勇払郡鵒川町と穂別町の新設合併によって北海道胆振支庁東部にむかわ町は設置されたのである。

表 1 沿革

2003 年	1 月 15 日 穂別町は日高町、平取町、門別町とで任意協議会設置。 2 月 18 日 鵒川町が加入。 10 月 29 日 鵒川町が離脱。 12 月 8 日 厚真町、早来町、追分町と 5 町で任意協議会「胆振東部 5 町合併問題・広域行政問題協議会」設置。
2004 年	3 月 17 日 日高町、平取町、門別町との任意協議会から穂別町が離脱。 5 月 6 日 2 町で法定協議会設置。 5 月 27 日 合併重点支援地域に指定される。 6 月 11 日 任意協議会「胆振東部 5 町合併問題・広域行政問題協議会」を解散。
2005 年	3 月 20 日 穂別町の合併の是非を問う住民投票の結果「賛成（63%）」「反対（37%）」。 新町名公募上位 5 点：東いぶり、清流、東胆振、森海、鵒別および新町名候補 4 点：東いぶり、穂別、むかわ、鵒川の結果、新町名：むかわ町（むかわちょう）に決定。新町役場は現・鵒川町役場。 3 月 23 日 合併協定調印式。 3 月 25 日 廃置分合関連議案を 2 町が可決。 3 月 30 日 北海道知事に廃置分合申請書を提出。 3 月 31 日 合併協議完了に伴ない、協議会を解散。 7 月 1 日 北海道議会において鵒川町と穂別町の廃置分合（合体）議案可決。 7 月 8 日 北海道知事が廃置分合を決定し、2 町に廃置分合決定書を交付する。同日付で総務大臣に届け出。 8 月 19 日 穂別町との廃置分合について総務大臣告示。
2006 年	3 月 27 日 勇払郡鵒川町と穂別町の廃置分合（合体）にて設置される。 11 月 17 日 「鵒川ししゃも」に商標権が設定される。
2007 年	4 月 23 日 砺波市と姉妹都市提携・災害時相互支援協定を調印する。 10 月 1 日 「むかわ町金券」の発行を開始。 11 月 16 日 「ほべつメロン」に商標権が設定される。
2008 年	3 月 1 日 むかわ町鵒川厚生病院を開設する。 4 月 1 日 鵒川地区の下水道事業及び穂別地区の上下水道事業に地方公営企業法を適用させる。鵒川地区の上水道事業と併せ、事業名も「むかわ町上下水道事業」となる。

出典：Wikipedia

2. 地理・気候

2.1 地理

むかわ町は、北緯 42 度 35,4 分、東経 141 度 56,0 分に位置し、北海道胆振支庁東部の勇払郡に設置された町である。面積は、712.91 平方キロメートルであり、細長い地形をしている。鵡川、穂別川、入鹿別川、湯の沢川、イクベツ沢川、モイベツ川、珍川といった河川が流れており、山・湖沼はない。隣接している自治体は、胆振支庁：厚真町、日高支庁：日高町、平取町、空知支庁：夕張市、上川支庁：占冠村である。

図 3 おおよその位置



出典：むかわ町商工会HP

図 4 むかわ町全体の形

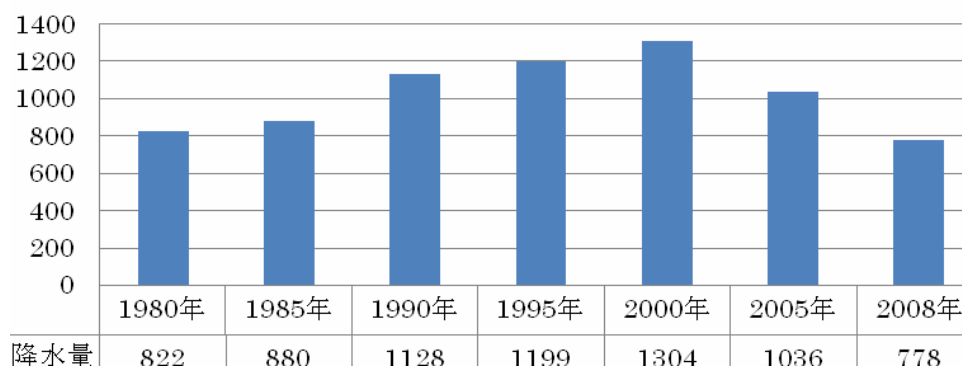


出典：むかわ町役場HP

2.2 気候

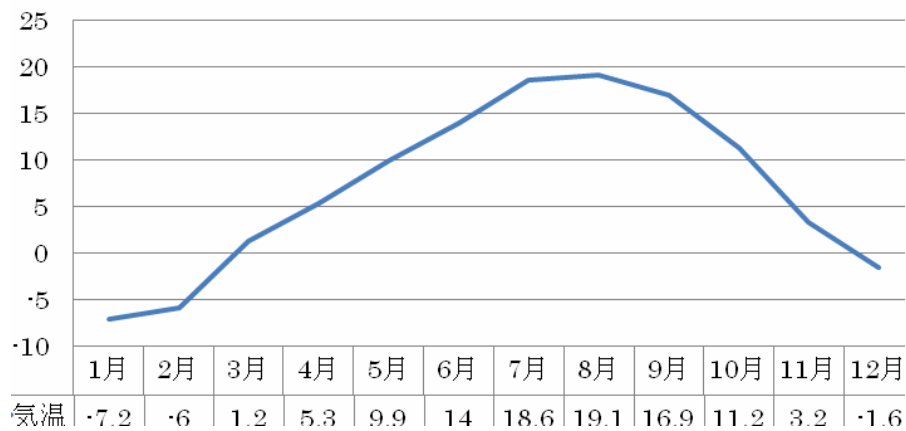
太平洋に面している胆振管内の中にあるむかわ町は、北海道の中でも比較的温暖な気候である。春の訪れは比較的早く、5月中旬から8月上旬にかけては、太平洋側の特有といえる海霧が発生し、日照時間が少ない時期となる。夏は蒸し暑さはなく、さわやかで安定した気候の長い秋が続く。冬は大陸からの寒気の影響が小さく、山間部の一部を除き温暖で積雪量が少なく、1mを超えることはほとんどない。

グラフ1 むかわ町の降水量推移



出典：気象庁HP

グラフ2 むかわ町 気温の推移（2008年）

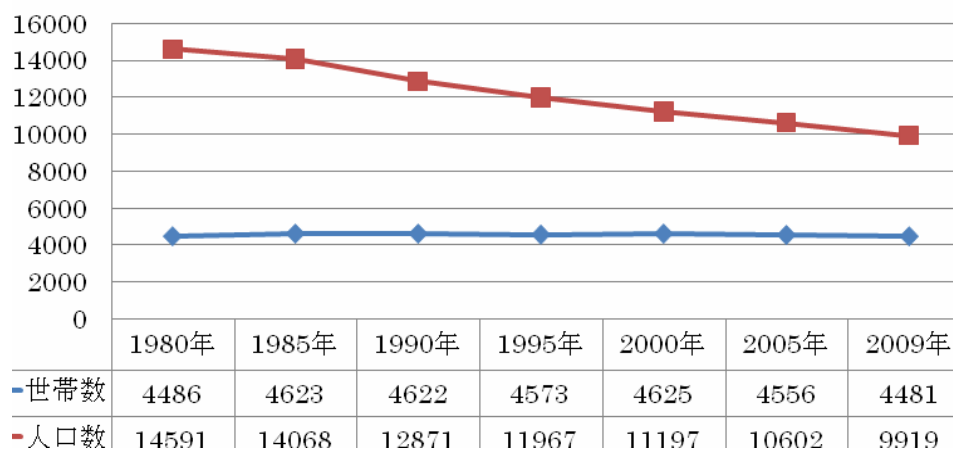


出典：気象庁HP

3.人口

むかわ町の人口は減少し続け、高齢化が着々と進行している。1980年には14000人を越えていた人口も2009年には10000人を切ってしまっている。（むかわ町は2006年に穂別町と新設合併したので、2006年以前のデータは鷗川町と穂別町を合わせた数値で出している。）

グラフ3 むかわ町 人口・世帯数の推移

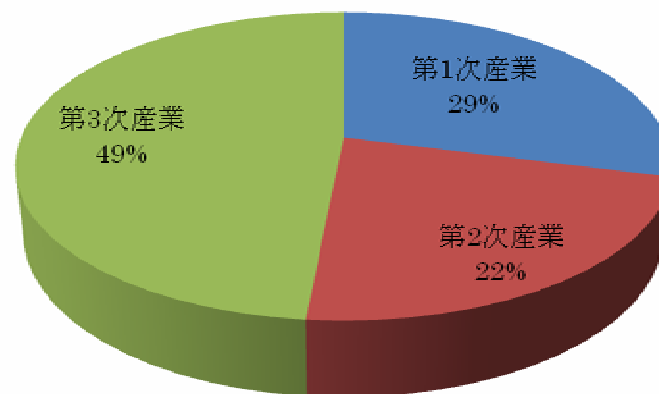


出典：北海道庁HP

4.産業

むかわ町は、一次産業が盛んであり、一級河川の鹉川に沿って拓かれた農業が基幹産業の町である。その農業は米・野菜・花作り・乳牛・肉牛・軽種馬と多種多様である。鹉川下流域では、シシャモが漁獲され、むかわ町は「シシャモの町」として知られている。産業別人口数、就業人口数と産業の数値は次のグラフの通りである。

グラフ4 むかわ町 産業別人口数



出典：農林水産省HP

表2 各産業の統計

農業産出額	710 千万円	平成 18 年版胆振の統計
漁獲高	59 千万円	平成 18 年版胆振の統計
製造品出額	192 千万円	平成 16 年版工業統計調査結果
商品販売額	1448 千万円	平成 18 年版胆振の統計

出典：むかわ町商工会HP

図6 穂別メロン

5.農業・漁業

5.1 農業

むかわ町の農業は、4.産業でも書いたように多種多様である。

むかわの農業の特産品としては穂別メロンがあげられる。穂別メロンとは、夕張から旧穂別町に移り住んだ小林勇氏が、夕張産のキングメロンを上回る



出典：むかわ町役場HP

糖度と果肉の厚いメロンの試作に成功し、出荷した 1972 年が始まりである。小林氏が品種改良したキング系の「IK メロン」が代表品種で、盛夏向けのルピアとともに栽培が続いている。

初夏の強い日差しと夜の涼しさとの温度差が「穂別メロン」の熟成を助け、糖度の高い、甘くて柔らかい実が出来上がる。品質を保つために 1 本の樹に 1 個から 2 個だけ選定して丹念に育てている。香りと高い糖度、大玉でネットの美しさが特徴で、1996 年に農林水産大臣賞を受賞している。

また、なかなか知られていないことだが、ほとんどが道外の近江、松阪、岩手など有名な和牛の素牛となって出荷されている。

他にも、むかわ町の気候にあわせて花や減農薬野菜を作っており、市場から高評価を得ている。

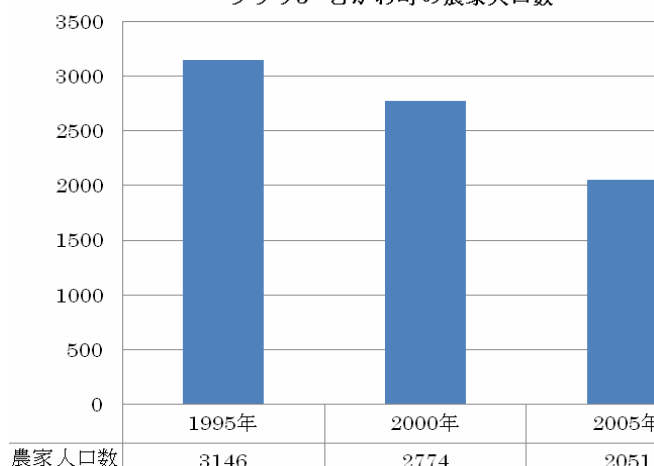
そして、このように高評価を得ているむかわ町の農業を支えている農家人口は年々減少している。

図 7 むかわ和牛



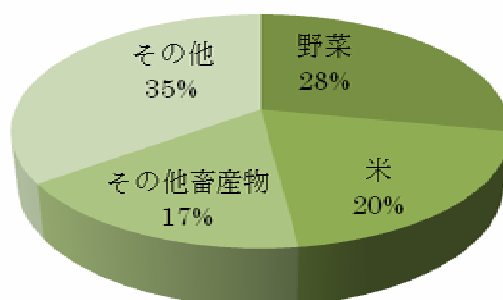
出典：むかわ町役場 H P

グラフ5 むかわ町の農家人口数



出典：農林水産省 H P

グラフ6 農業産出額の内訳



出典：農林水産省 H P

5.2 漁業

むかわ町と言えばししゃもで有名である。ししゃもは平成 7 年 7 月に開催された町 100 年記念式典で「町魚」に制定された。この制定の趣旨は、かつてアイヌの人たちに「神がくれた魚」として尊ばれたししゃもが、むかわ町民に限りない恵みを与えてくれたことに感謝し、緑豊かな森を育み、母なる川、鶴川の清らかで悠久な流れを保ち、ししゃもを町の資源として未来永劫に残していくむかわ町民の決意を象徴するためである。

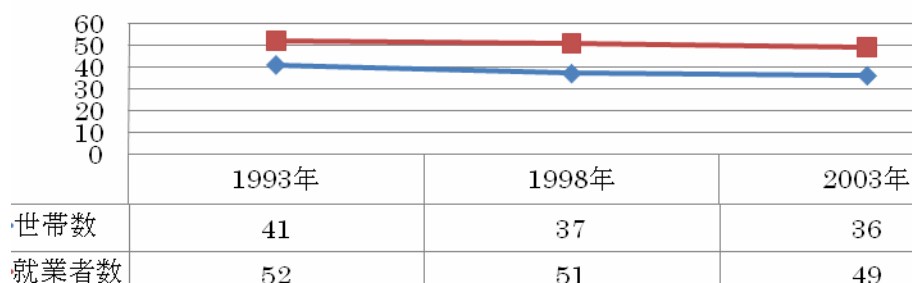
図 8 鶴川ししゃも



出典：むかわ町役場 H P

このように、むかわ町はししゃもも特産物であるが、決して漁業が盛んであるというわけではない。現在の漁業就業者数は男子 48 人、女子 1 人の計 49 人であり、年々少しではあるが減少の傾向が見て取れる。

グラフ7 むかわ町 漁業世帯数・就業者数



出典：農林水産省 H P

6.観光

6.1 サラブレット

早来、門別に隣接するむかわは競走馬の産地としても有名である。約 50 軒の競走馬を生産する農家があり、オッペクホース、ニシノフラワー、トロットサンダー、最近では平成 10 年の菊花賞馬セイウンスカイ、平成 14 年スプリンターズステークスのビリーヴなど、G1 優勝馬を数多く生み出している。

図 9 サラブレット



出典：むかわ町商工会 H P

図 10 たんぼぼ公園

6.2 たんぼぼ公園

むかわ町は春の訪れと共に、たんぼぼの花で公園や広場が黄色に染まる。なかでも町内を流れる鶴川の河川敷にある「たんぼぼ公園」は、たんぼぼがあたり一面に咲きほこり、黄色のじゅうたんを敷き詰めたような光景が広がる。



出典：むかわ町商工会HP

6.3 サンクチュアリ

鶴川の河口は渡り鳥の宝庫として知られ今までに100種類以上の野鳥が記録されている。特に春と秋にはシベリアと東南アジアを旅するシギやチドリの仲間が飛来し、冬にはガン・カモ類はもとより、オオジロワシ・オオワシの勇壮な姿が観察できる。今年の夏には右岸にも左岸にもカワセミが数多くみられ、家族で並んでいる姿もよく確認された。秋にはススキやヨシ原を優雅に飛ぶチュウヒやノスリも多くみられるところである。

図 11 鶴川河口



出典：むかわ町商工会HP

図 12 カワセミ



出典：むかわ町商工会HP

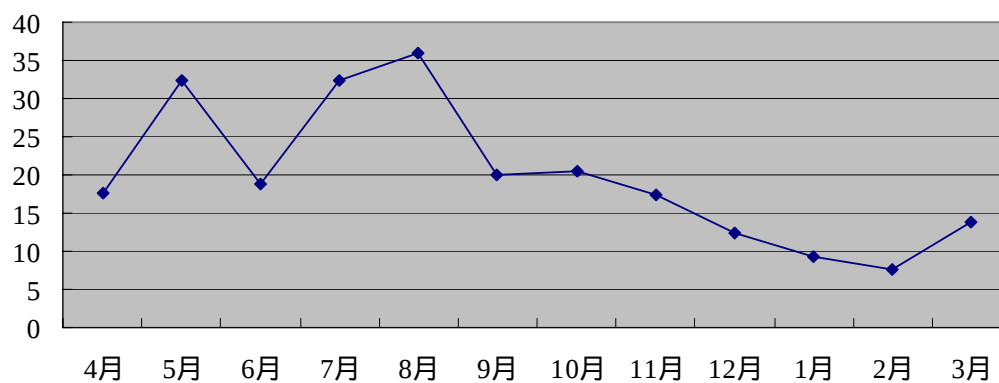
図 13 ノスリ



出典：むかわ町商工会HP

6.4 むかわ町の観光入り込み客数

グラフ8 むかわ町 2008年度 観光入り込み客数(万人)



出典：北海道庁ＨＰ

上半期に減少している月は、各施設入館者数の減少やイベント時の悪天候の影響と考えられる。

また、下半期の減少の原因は、各施設入館者数減少のほか、むかわ四季の湯の施設改修による入館日の制限を設けたためと考えられる。

参考

- ・ むかわ町役場ＨＰ：<http://www10.plala.or.jp/mukawa/>
- ・ むかわ町商工会ＨＰ：<http://www.do-shokoren.or.jp/mukawa/>
- ・ 農林水産省ＨＰ：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>
- ・ 北海道庁ＨＰ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・ 気象庁ＨＰ：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・ Wikipedia：<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%80%E3%81%8B%E3%82%8F%E7%94%BA>